

新「貿易立国」をめざして

2008年1月9日発行

「中期貿易・投資ビジョン」特別研究会 編著

日本貿易会では、創立60周年記念事業の一環として、2006年度および2007年度の2年度にわたり特別研究を実施し、このたび、その研究成果を報告書として取りまとめました。

少子高齢化や経済成熟化の進行により、日本は経済活力の減退した「老大国」になってしまうのではとの悲観論がある中、貿易の現場で景気動向、経済構造などの調査・分析を行ってきた商社のエコノミストは、戦後の高度成長期、バブル期、バブル崩壊後の失われた10年を乗り越えてきた貿易立国としての日本の強さを再認識・確信するに至った。

しかし、21世紀型の新「貿易立国」として日本を確立し、明るく元気な未来を志向するには、乗り越えるべき障害や克服すべき課題も多く残されている。

本報告書では、5年から10年先の中期的将来を見据え調査・分析・議論した結果を整理し、「商社」、「日本企業」、「日本政府」がやるべきことは何かを「提言」として提示した。



[目次](#)

[全文ダウンロード](#)
(PDF / 11.6MB)
全編ご覧いただけます。

構成

[はじめに](#)

[概要](#)

序章 [新「貿易立国」をめざして](#)

第1章 [本格的な黒字拡大が続く日本の経常収支](#)

1. 原油高に隠された貿易収支黒字の拡大
2. 黒字一歩手前のサービス収支
3. 本格化してきた所得収支黒字の拡大
4. 高水準が続くと予想される経常収支黒字

第2章 [地域戦略・アジアの重要性](#)

1. 日本企業の再生とアジア
2. 東アジア生産ネットワークの誕生と発展
3. 東アジア経済圏の行方と日本企業

第3章 [資源・エネルギー・環境問題への対応](#)

1. 注目すべきトレンドの変化
2. 資源・エネルギーを取り巻く環境の変化
3. 環境問題と規制強化の動き
4. これからの取り組み

第4章 [日本企業の競争力強化に向けて](#)

1. 新たな労働力の投入・強化
2. 資本投入の強化とリスクマネーの配分
3. 生産性の向上にむけて
4. 企業へのメリット増大が日本自身のメリットにつながる

第5章 [総括と提言](#)

1. 総括
2. 提言

[参考文献、特別研究会委員名簿ほか](#)

本件照会先 (一社) 日本貿易会 企画グループ

Tel: 03-5860-9350

Fax: 03-6800-3408